

令和7年度 神戸市立舞子中学校の学校経営ビジョン

◎神戸の教育理念

「人は人によって 人になる」

◎神戸の目指す人間像

「心豊かに たくましく生きる人間」

◎教育ビジョン

「自他を大切に 自ら考え 未来をつくる」

◎神戸市教育大綱7つの方針

→第4期神戸市教育振興基本

生徒の実態

◎物事を素直に受け止め、真面目に取り組もうとする。

◎教員を信用・信頼している生徒が多い。

◎人を思いやる気持ちがある。

◆主体性が十分発揮できず、打たれ弱くしなやかさに乏しい。

◆自分に自信がないことで、様々なことに積極性に取り組めない。

◆自分が困っていても、誰かに助けを求めることができない。

学校の教育目標

◎主体的に学び、考え、判断し、行動する(自主)

◎多様な仲間とのつながりや、支え合い、対話を通して最適解・納得解を導き出す(協調)

◎課題解決力を生かしてよりよい未来を創る(創造)

目指す生徒像

◎素直な心で、主体的に行動する生徒

◎多様性を認め、理解し、対話を通して最適解・納得解を導き出すことのできる生徒

◎様々なことに挑戦し、自分に自信が持てるように成長しようとする生徒

◎困っているときには、助けを求めることができる生徒

目指す学校像

◎人にも物にもあたたかな学校

◎様々な場面で一人ひとりの生徒が考え、行動し、授業や行事に協力して取り組む学校

◎家庭や地域と連携し、学校運営協議会やPTA等と調和を図りながら進む学校

◎「自他を大切に 自ら考え

未来をつくる」

基本政策1

子供が主役のこれからの学び

基本政策2

一人ひとりに応じたきめ細かな支援

基本政策3

安全・安心で過ごしやすい環境づくり

基本政策4

子供に向き合い寄り添える学校づくり

基本政策5

地域とともにつくる開かれた学校

目指す教職員像

◎温かな心で、相手(教職員・生徒・保護者・地域・業者等)を尊重する教職員

◎職員間では学年関係なく協力し、調和を図り、向上心・探究心を持った教職員

◎生徒一人ひとりの将来を考え、未来の社会を見据えた教育活動を目指す教職員

◎生徒の置かれている現状を的確に把握し、寄り添い、生徒や保護者から信用・信頼される教職員

何ができるようになるか

○学校教育の基本

①学習したことや体験したことを生かす。

②その場の状況に適した対応をし、課題解決しようとする。

③主体的に考え、根拠ある判断のもと行動する。

何を学ばか

○教育課程の編成

①教科横断的な視点

「言語能力」「情報活用能力」の育成

②教科の特性

各教科の見方・考え方を働かせて「問題発見・解決能力」を育成

資質・能力の育成

何が身に付いたか

○学校評価と学習指導の改善

①学習したことや体験したことを場面をかえたり日常生活に落とし込んだりすることができる。

②教科等の見方・考え方を働かせて、課題解決へとつなげることができる。

③友達の考えや調べたこと等について立ち止まって捉え、自分の考えを再構築できる。

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

①一人一人の生徒と向き合い時間を確保し、生徒理解に努める。

②支援員、保護者等と連携し、教育的ニーズを把握し適切な支援を行う。

③教師間で情報共有を行い、協働して支援に当たる。

どのように学ばか

○教育課程の実施

①「目標設定・対話のある展開・振り返り」の授業モデルの構築

②聴くこと・伝えることを意識した協働学習

③楽しみながら学び、生活につなげることを意識した学習

実施するために何が必要か ○指導体制の充実 家庭・地域との連携・協働

◎中学校主導の積極的な小中高連携(授業交流、学校公開、児童・生徒間交流)

◎地域資源の積極的活用(学校運営協議会、地域教材の発掘、部活動支援、ゲストティーチャーの招聘)

◎学校と家庭を往復する学習サイクルの確立と連携(家庭学習の手引き、放課後学習、GIGA端末の利用)

◎地域と連携し、「安心・安全を守る」活動の推進、学校からの積極的な情報発信